

# 自己点検学校評価報告

札幌歯科学院専門学校

大項目	評価項目	自己点検評価
教育理念・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念,目的,育成人材像,本校の特色を生かした将来構想が定められ,生徒・関係業界等へ周知されているか</li> <li>・各学科の教育目標,人材育成像は、学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生便覧に記載されている本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき,歯科衛生士科・歯科技工士科を併設している本校の特徴を生かした,両科による合同授業等,歯科医療界のニーズに即した各授業の工夫により,歯科医療従事者の一員として地域歯科医療に貢献できる即戦力を目指した教育を実施している。</li> <li>・保護者・学生に対して合格者説明会,入学時のオリエンテーションにて説明する他,学生便覧を配布することで周知している。</li> <li>・歯科医師会立校として、現役歯科医師の指導により対応している他,即戦力となる人材を育成するためのカリキュラムを組んでいる。</li> <li>・日進月歩な歯科医療ニーズに対応するため、関係団体との連携情報収集などにより,時代に合った人材育成のための情報収集を今後も行っていく必要がある。</li> </ul>
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に沿った運営方針,事業計画,体制等が策定されているか</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化や情報公開が適切になされているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営、事業計画などについては,運営委員会、教職員会などにて審議、策定されており,その後、法人の総会において承認されている。</li> <li>・一部文書の保管等をデータ化することにより,迅速に共有・閲覧する等の整備を行っているが,更なる効率化を図るための改善が必要であると考えている。また、ホームページをリニューアルし,学校情報や教育活動等について情報公開に努めている。</li> </ul>
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成,実施方針が策定されているか。</li> <li>・職員の能力開発のための研修などが行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に基づいたカリキュラムを編成しているが,定期的な見直しが必要である。歯科技工士科については単位制への変更に伴ってカリキュラムの編成を見直したが,両科とも時代に合わせて今後も見直しをしていく必要がある。</li> <li>・医療人として社会へ貢献する人材育成のため,一般常識から心構えを培うことが出来る教育方法を実施している。また,即戦力となる人材育成のため,実習先へ協力・連携を図り,臨床実習を重視している。今後、「一般社団法人札幌歯科医師会札幌歯科学院専門学校 学校関係者評価委員会」を設置し,外部評価等により,カリキュラムの編成へ意見を反映することが必要だと考えている。</li> <li>・外部研修の参加費用については学校で負担し,教員の資質向上に努めている。今年度より新たにFD・SD協議会へ加盟し,研修会への参加機会を増やしている。</li> </ul>
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設,設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校会館増改築から 36 年経ち,設備面の劣化等が見込まれるため,随時会議等にて検討している。昨年は教室ドアの改修や歯科技工士科実習室の設備を一新した。</li> <li>・歯科衛生士科基礎実習室には各自の机にモニター画面付きのマネキン診療台が設置されており,実習において学生が学びやすいような環境整備に取り組んでいる。また,歯科技工士科についても CAD/CAM システムも完備し,最新の学習が出来るよう環境整備に取り組んでいる。</li> </ul>
学生募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校等の機関へ対する情報提供の取組が行われているか</li> <li>・資格取得,就職状況等の教育成果は正確に伝えられているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副学院長・教職員が連携して広報活動を行っており,資料請求や学校訪問等下記のとおり広報活動を行い,随時説明を行っている。今後も高校訪問等を通して信頼関係を深めていきたい。</li> <li>(1)オープンキャンパス 年間 13 回実施・参加者 332 人 年間開催が 14 回の予定であったが,地震の影響で 13 回の開催であった。しかし,参加者を昨年より増やすことが出来,今年度入学生は定員を確保することが出来た。</li> <li>(2)進学相談会 49 回参加 進学相談会の参加者は例年減少しているが,学生と直接話すことが出来る貴重な機会である。参加していた進学相談会の時期を一部変更し,春の相談会に力を入れ,年間参加回数を増やした。校内ガイダンス等,学生がより多く出席する相談会へ参加し,多くの生徒へ面談したいと考えている。</li> <li>(3)職業体験学習(中学校) 参加校 7 校・参加者 63 名 歯科衛生士・歯科技工士の職業の周知活動の一環として中学学生向けに職業体験をしている。各回中学校教諭・学生ともに楽しんで職業について知っていただけているため,今後の募集活動へ繋がるものと期待している。</li> <li>(4)高等学校訪問 270 回実施(うち学生同行 27 校)</li> <li>・オープンキャンパスや外部の広報誌等において記載し,正確に周知しているが,最新の情報をよりわかりやすく正確に伝えることが出来るよう工夫が必要である。</li> </ul>

<p>財務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算,収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度入学生については定員を満たす事ができたが,数年前より入学者数が減少しており,財政基盤はやや不安定になってきている.そのため,学生募集活動の充実化を図り,退学希望者の減少・国家試験合格率の向上・支出等の見直しを行い,財務基盤の安定化に努める必要がある.</li> <li>・予算,収支計画については,審議項目が運営規程に明記されており,教職員会・運営委員会・理事会を通し,予算,収支計画が策定される.法人の総会においても承認されている.</li> </ul>
<p>法令等の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令,専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報について保護対策が取られているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士・歯科技工士学校養成所指定規則に従い,届出等について,必要事項を掌握し,適切に対応し,法令順守に努めている.</li> <li>・「札幌歯科学院専門学校における個人情報の取扱いについて」学院長が定めた規則に従い,学校が保有する個人情報について管理者・管理方法・管理場所が明確となっており,学生等についても「個人情報に関する同意書・誓約書」を提出してもらっている.</li> <li>・実習施設との間で診療内容や個人情報の保護に関する誓約書を交わしており,学生にも十分注意をしている.昨年度において違反する学生は無かった.</li> </ul>
<p>社会・地域貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献,地域貢献をおこなっているか</li> <li>・生徒、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年6月に開催する「歯と口の健康週間事業」(主催 一般社団法人札幌歯科医師会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道歯科衛生士会札幌支部、札幌歯科技工士会)において、一般市民に対し、歯周病に対する理解を深めていただくとともに子どもたちにはハミガキの大切さを楽しく学んでいただき、口腔衛生に対する意識向上を図るイベントに参画している。</li> <li>・一般社団法人札幌薬剤師会主催「政令指定都市薬剤師会統一社会貢献事業「薬物乱用防止キャンペーン」ひとつの命を大切にinさっぽろ」に参画し、市民への歯科口腔保健の向上に努めている。</li> <li>・高齢者施設、障害者施設等における臨床実習を通じて市民の口腔衛生維持向上に努めている。</li> <li>・北海道私立専修学校各種学校連合会主催「次世代人材職業体験推進事業職業体験講座」等の職業体験学習活動へ積極的に参画し、中学生に向けた歯科衛生士と歯科技工士の職業体験授業を行い、職業の認知、向上に努めている。 参加校 7校 計63名</li> </ul>

「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省)を基に作成